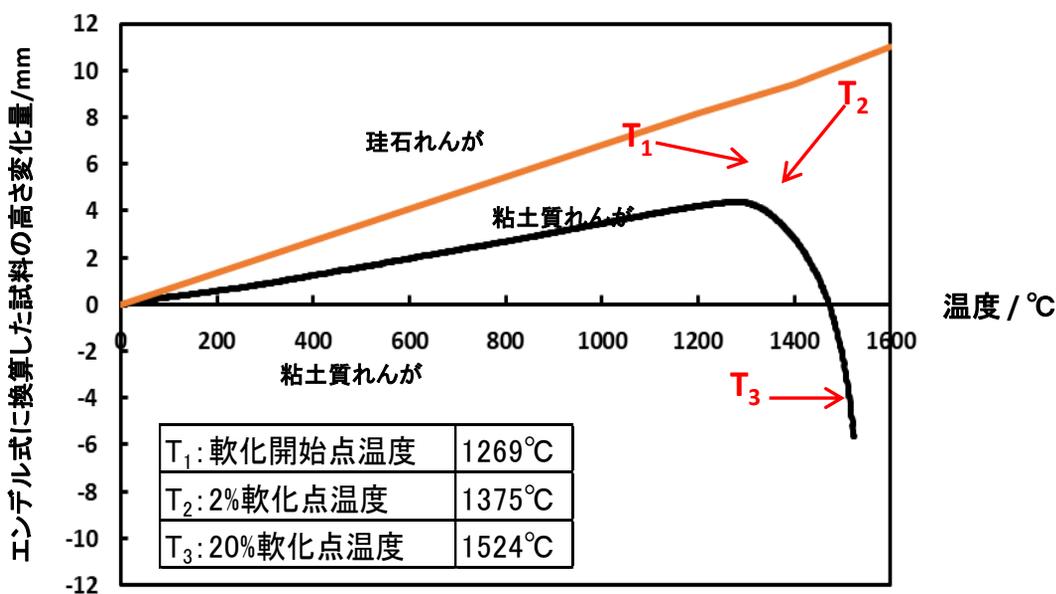


荷重軟化点 (JIS R 2209準拠) ・ 荷重下膨張試験装置 I



| | |
|-------------------|--|
| 設置 年度 | 2006年度 |
| 型 式 | RA-006-02型 |
| 製 造 所 | リサーチアシスト有限公司 |
| 仕 様 | 試験温度 : 最高1700℃ 発熱体 : カーボン 雰囲気 : (真空置換による) N ₂ またはAr雰囲気 昇温速度 : 5℃/min 負荷荷重 : 0.05~2.0MPa 試料形状 : φ50xH50mm 荷重軟化点 : エンデル式に換算して算出 荷重下膨張 : 試料の荷重負荷時の膨張率算出 |
| 用 途 特 徴 な だ | 荷重軟化点によって、荷重負荷による軟化開始点を知るとともに、T ₁ ~T ₃ 範囲の挙動から生成する液相の粘性と量の影響度合いを知ることができる。 示差方式による荷重下膨張およびクリープ量も測定できる。 |

事例紹介



上の図は荷重軟化曲線である。試料に0.2MPaを常温から負荷。加熱膨張による試料の高さ変化量が最大になった温度をT₁、試料初期寸法の2%収縮点の温度をT₂、20%収縮点の温度をT₃として表示。

試験概要図

